NEWS RELEASE

2026年10月30日
株式会社 福山臨床検査センター
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社ジェイアール西日本マルニックス

福山臨床検査センターとJR西日本グループが新幹線による検体輸送を開始

～関西・九州エリアと福山を結び、検査結果の迅速化と地域医療の発展に貢献～

株式会社福山臨床検査センター（以下、福山臨床検査センター）と西日本旅客鉄道株式会社及び株式会社ジェイアール西日本マルニックス（以下、JR西日本グループ）は、2026年11月2日から山陽新幹線を活用した検体の定期輸送を開始します。

関西および九州エリアの医療機関で採取された検体を、JR 西日本グループの新幹線荷物輸送サービス「荷もっシュッ！」を活用して福山臨床検査センター本社ラボへ輸送します。昨年両者で実施した実証実験で得られた知見を活かし、輸送リードタイムの短縮と安定的な検体輸送を通じて、検査結果の迅速な報告と地域医療へのさらなる貢献を目指します。

1．取り組みの背景

近年、検査需要の増加や高度化に伴い、検体を迅速かつ安定的に輸送する物流体制の重要性が高まっています。福山臨床検査センターでは、広域エリアから集約する検体の検査体制強化を進めています。

こうした中、福山臨床検査センターとJR西日本グループは、昨年、新大阪駅から岡山駅間で約1か月間の検体輸送実証実験を実施しました。実証実験で得られた知見を踏まえ、福山駅における荷役体制の構築やオペレーション整備を進め、このたび関西および九州エリアから福山臨床検査センター本社ラボへの定期輸送を開始することとしました。

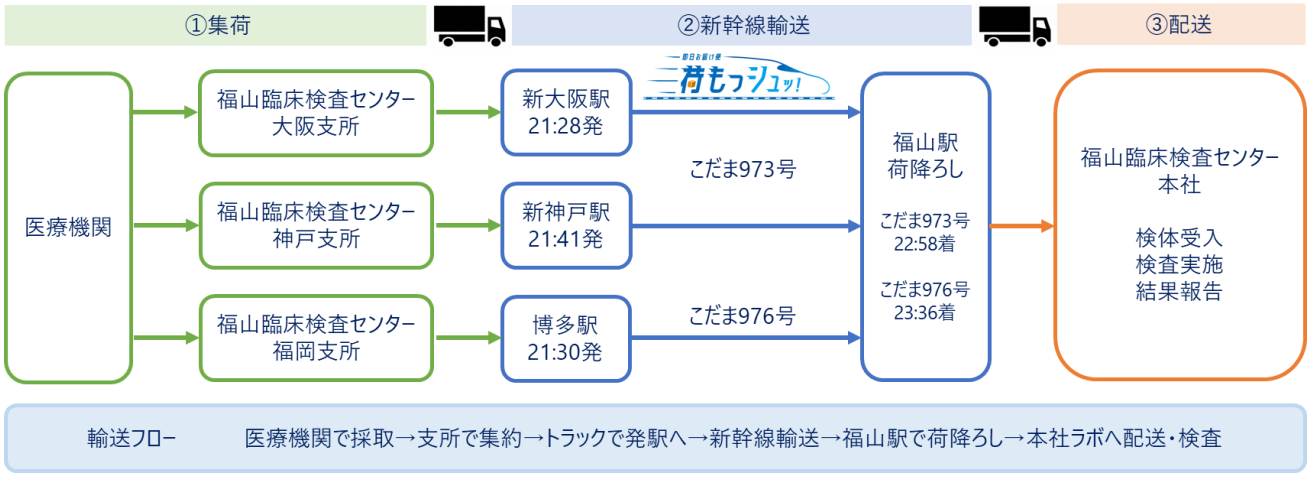
2．期待される効果

（1）福山臨床検査センター
- 検体搬入時刻の早期化による翌朝報告可能な検査項目の拡大
- 輸送リードタイムの短縮と検体到着時間の分散による検査業務の効率化
- 安定した検体搬送による持続的かつ効率的な検査体制の構築

（2）医療機関
- 検査結果の早期把握による、迅速な診断・治療判断への寄与
- 検査結果の早期報告による医療サービスの向上

（3）JR西日本グループ
- 新幹線荷物輸送サービス「荷もっシュッ！」の利用拡大
- 新幹線物流を通じた地域・社会課題の解決への貢献

3．輸送概要



4．今後の展開

今後は、本取り組みの運用状況や輸送ニーズを踏まえ、下関エリアおよび周南エリアへの展開を進めるとともに、輸送区間及び取扱数量の拡大を図ってまいります。福山臨床検査センターと JR 西日本グループは、新幹線を活用した高品質な検体輸送を通じて、西日本エリアにおける検体物流ネットワークの充実と地域医療基盤の強化に取り組み、持続可能な医療物流の実現を目指してまいります。

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、11 番、13 番に貢献するものと考えています。

JR西日本グループ
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

